

自：平成28年4月1日
至：平成29年3月31日

平成28年度事業報告書

社会福祉法人健善富会
明和輝保育園

《運営面》

0歳児の入園数が例年のように少なく、途中入園も少なかった。

幼児クラスの児童が蹴った事が要因で鏡が破損してしまい、取替となった。開園以来15年目となるので、修理箇所が増えている。階段上に柵をつけた。2階トイレに鍵をつけた。他に未満児クラスの部屋の床板や柵がささくれ立ち、棘が刺さったりしている。安全面を考え早急に修繕をお願いしたい。

園児数

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	9	15	16	17	17	17	90
現員4月	4	19	19	20	19	16	97
現員3月	9	20	19	19	19	16	102

《保育内容》

職員の入れ替わりがあるので、毎年保育の見直しを行っている。更に職員会議の後保育に関して困っている事や園外研修に参加したことを基に話し合いを行っている。吉本先生の保育からブレないように常に心がけている。幼児クラスでは、清水聖子が妊娠・出産を控えているため、後任をどうするか担任同士のコミュニケーションがうまく取れるか、クラス運営をどうしていくかでの話し合いを多く持った。特筆すべきことだと思うが、今年度子どもの大きな事故が無く、一度も病院受診していない。保育士の努力によるものだと思う。

《行事について》

秋まつり・・・今年度は明和輝保育園から真生保育園への渡御だった。今年度は年長の人数が少ない為、担ぎ手の配分にひと工夫が必要となった。子どものみ前の棒を持たせ、保護者が後ろの棒を持つように配慮した。

ゲームは、水風船・宝さがし・ロケット・魚釣り

食品は、かき氷（レンタルのかき氷機使用）、フライドポテト（保育園でのおやつ）を提供した。流れはスムーズだった

ファミリースポーツディ・・・

オリンピックイヤーにあやかり、「聖火」を持って入場し、競技も五輪競技にちなんだものを行った。たいまつは子どもたちの自作で、ビニールの袋に赤い綿を詰め、ラップの芯に好みのテープを巻いて、ビニール袋をつけた。

途中からあいにくの雨模様となり、競技をピックアップして行った。表彰式のみホールで行い、今年度のみ金メダルを首にかけ終了となった。

子ども劇場・今年度も、子どもたちの子どもたちによる劇発表となった。

保育士は黒子役となって、子どもたちの好きな絵本を探り、普段の遊びや劇遊びに取り入れて、発表会へとつなげた。配役や役作りも子どもたちと話し合いながら、職員のアドバイスを入れながら劇を仕上げた。

又、頭につけるものや、背景の色塗り等、子どもたち自身で作ったものを身に付け発表会に臨んだ。最後は例年通り「こきりこ節」を年長さんが発表した。

～プログラム～

劇：つき組年長「とりかえっこ」つき全体「おむすびころりん」

たいよう年長「みどりいろのたね」たいよう全体「三匹のやぎのがらがらどん」

歌：合間に2クラスともわらべうたの発表を行った。時間は予定通りに進んだ。

餅つき大会・力士を招待しての開催がすっかり定着した。

秒単位の力士の移動は緊張の連続だが、餅つき大会に華を添えるようで楽しいものになる。

焼き芋大会・焼き芋というとバーベキューコンロで焼いていたが、今年は落ち葉を集めた焚き火で焼いた芋を食べて貰いたくて、園庭に穴を掘り落ち葉と消し炭を燃やした熾火の中にアルミ泊で巻いた芋を投入して1時間程焼いた。ホクホクの美味しい焼き芋が出来た。

《研修について》

“わらべうた”と保育（吉本先生）の研修は、毎年定期的をお願いしている。

姉妹園で行われている時には、お互いに行き来をして参加し合っている。

今年度は、絵本と積木の研修は行う事が出来なかった。

園内研修は毎月職員会議の後に保育に関する事、外部研修に参加したことなどを報告したり、わらべうた研修のおさらい等行っている。

《その他》

- ・ 明德短期大学の 大村先生の依頼で、11月8日・15日2日間にわたり、担当ゼミの学生さんが来て、明和輝保育園の保育について研修を行った。
- ・ 卒園式後の“卒園を祝う会”を今年は保育園主催で行った。今まで保護者主体で行って来たが開催までに行う毎月の会議に時間が掛かり、下の子がいる家庭は延長保育で預かる事になり、職員の配置人数が不足したりで細目に見る事が出来ない状況になった。又会議の時間も非常に長くなり7時を過ぎる事も多々あるとおやつの心配もせねばならず、園主催に変える方向にした。
- ・ 親子遠足の日程が小学校の行事と重なる日が多く、7月になってしまった。行先：葛西臨海公園
- ・ お泊り保育は例年通り「スイカわり」や「ドッジボール」で遊び、夕食は「流しそうめん」「からあげ」「おむすび」を頂いた。
- ・ 社会見学 は成田ゆめ牧場へ行き、乳搾り体験や動物とのふれあい体験を行った。
- ・ 12月のクリスマス観劇は、劇団風の子の「風の一座」を観劇した。支援センターからも10組の参加があった。
- ・ ことしの子ども劇場は、インフルエンザの影響で開催日が約1ヶ月後に延期となってしまった。